

インストラクショナルメンタル

作
泉
晟

【役】

少女
高校生

音A・先輩
年齢とか男女とか自由に

音B・友達
同右

【夜】

暗い部屋。

少女が布団にくるまっている。

その後ろに音Aと音B。

秒針の音。

音A
チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音A、音を出しながら秒針の動き。

少女、寝返り。

風の音。

音A
チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音B
ビュー、ビュー、ビュー……。

音B、音を出しながら風の動き。

音Aは秒針の音を繰り返す。

少女、寝返り。その後、半身を起こす。が、再び横になる。

少女
時計の秒針が気になって眠れない。時計の秒針の進む音が気になって眠れない。

耳から頭に入って響く。耳から秒針の音が頭に入って響く。

時計の秒針が気になって眠れない。時計の秒針の進む音が気になって眠れない。

瞼を閉じると音が大きくなる。瞼を閉じると時計の音が大きくなる、気がする。

チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……つて。

音が、気になって、眠れない。

チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音A
チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

秒針の音、少女の言葉、重なる。

少女 よせばいいのに、数えてしまう。よせばいいのに、数えてしまう秒針の音。
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十……。

少女、秒針の音に合わせてカウント。

少女 そうしてる内に眠れなくなる。そうして数えている内に眠れなくなる。
音B ヒュオー、ヒュオー……。

先ほどより少し強い風。

少女 そうしてると風が気になってくる。今度は風の吹く音が気になってくる。
風がさつきより強くなった気がする。風がさつきより随分強くなった気がする。
音B ヒュオー、ヒュオー……。

風の音、強くなる。秒針の音が小さく聞こえるほど。

少女 風が吹いている。強い風が吹いている。
外はきつと寒い。冬だから外はきつと寒い。

風が気になって眠れない。冷たい風が気になって眠れない。
音B ヒュオー、ヒュオー……。
音A ガタガタガタ、ガタガタガタ……。

風、窓を揺らす。

音B、風が窓を揺らす動き。

音A、窓の揺れる音。窓が揺れる動き。

少女 窓が揺れる。風が強くて窓が揺れる。

音B ヒュオー、ヒュオー……。

音A ガタガタガタ、ガタガタガタ……。

少女 窓の音が気になってくる。窓の揺れる音が気になってくる。

窓の音が気になって眠れない、窓の揺れる音が気になって眠れない。

音A ガタガタガタ、ガタガタガタ……。

少女 割れるんじゃないかって音。窓が割れるんじゃないかってぐらいの音。

窓が割れるときつと寒い。窓が割れると外の風が入って来てきつと寒い。

割れる想像をしてしまう。割れるなんて本当はありえない想像をしてしまう。

音A
ガタガタガタ、ガタガタガタガタ……。

少女
それでも不安になる。それでも窓の音が不安になる。

また、眠れなくなる。不安になって眠れなくなる。

音B
ワーン、ワンワンワン！

少女
犬の鳴き声。近所の犬の鳴き声。

誰かが通ったのかもしれない。誰かが家の前を通ったのかもしれない。

犬は嫌い。犬はすぐに吠えるから嫌い。

また眠れなくなる。外の音が気になって眠れなくなる。

音A
ピーポー、ピーポー、ピーポー……。

少女
遠くからサイレンが聞こえる。遠くから救急車のサイレンが聞こえる。

また不安になる。またより一層不安になる。

誰かケガしたのかな。誰か事故か何かでケガしたのかな。

心配になってくる。知らない人のことが心配になってくる。

音A
ピーポー、ピーポー、ピーポー……。

救急車の音、遠ざかる。ささやかなドツプラー効果。

音B
ウー、ウー、ウー！（パトカーのサイレン）

少女
パトカーのサイレンが聞こえる。パトカーのけたたましいサイレンが聞こえる。

さっきの音と関係があるのかな。さっきの救急車のサイレンと関係あるのかな。

音B
ウー、ウー、ウー！

パトカーの音、近づく。

少女
音が近づいてきた。パトカーの音が近づいてきた。

事故が起きたのかな。事故が起きたのかもしれない。

強盗が出たのかな。強盗が出たのかもしれない。

喧嘩をしたのかな。誰かが喧嘩をしたのかもしれない。

喧嘩、喧嘩、喧嘩。きつと、喧嘩をしたんだと思う。

喧嘩、するよね。喧嘩、するよね、人だもん、ね。

音B
ウー、ウー、ウー……。

パトカーの音、遠ざかる。ドツプラー。

少女 音が遠ざかる。サイレンの音が遠ざかる。

静かになる。静かな夜になる。静かな夜になると聞こえてくる。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

少女 秒針の音。秒針の進む音。

眠ろうとする。気にせず眠ろうとする。

だけど、音が気になって眠れない。音が気になって眠れない。

眠れないと気になってくる。他のことを考えてしまう。

色んな事を考えてしまう。色んな事を考えてしまう。

授業。明日の宿題、鞆に入れたっけ？

体育。創作ダンスの振り付けの途中だ。

部活。明日もきつと走り込み。

テスト。悪いとまた母さんに怒られる。

受験。来年にはもう受験生だって。信じられない。

大学。よく分かんない。何しに行くの？

将来。あんまり、考えたくない。

友達。友達、友達、友達……。

少女、寝返り。

秒針の音、鳴り続けている。

少女、黙りこくる。

秒針の音だけが聞こえる。

音B、少女の友達として話し始める。

友達 先輩。そう、背の高い。うん、かつこいい、ってわけじゃないけどさ、なんか良いなって、最近。うん、だから、その、デートとか、誘いたいんだけどさ、ね。

少女 嫌だ、って言えなかった自分が嫌だ。

友達 じゃあ、今度さ、先輩呼び出すとか、うん、こつそり。できる？

少女 ごめん、って言えなかった自分にごめんなさい。

友達 えっ、いや、直接ってのは、あんまり話したことないし。

少女 私が先に好きになったのに、って言えなかった自分が嫌い。

友達 顔とか見た目じゃなくて、ほら優しそうな感じとか、実は臆病な感じとか？なんかくすぐられるっていうかさ。

少女 私だけが知ってる先輩の良い所、他の人にも見えてるんだって……。

友達 ね、ね、ね、好きな人とかいないの？手伝うよ。

少女 じゃあ先輩は諦めて、って言えない。言えないよ。友達だもん。

友達 そっか。教えてね。頑張るから。うん、まかせて。

少女 嘘を吐いた。ホントは先輩が好きなのに。嘘を吐いた。それでも友達なのかな？
友達 だって友達でしょ。

音A チクッ。

少女 と、胸が痛む、音。

音A チクッ。

少女 て、本当はそんな音鳴っていないけど。

音A チクッ。

少女 でも、胸が痛いのは本当で。

音A チクッ。

少女 それはあの子の言葉を思い出すからで。

友達 友達でしょ。

音A チクッ。

友達 友達。

音A チクッ。

友達 友達。

音A チクッ。

友達 友達。

音A チクッ。

少女 チク、チク、チク、チク、チクチクチク、また秒針の音が聞こえて来て。

音A チク、チク、チク、チク、チク……。

少女 チク、チク、チク、チク、チク……。

って、重なって。今度はギューって感じで痛くなってきた。ほんとに寝間着の胸の辺りをギューってすると。

友達、音Bに戻る。

音B ビュー、ビュー、ビュー……。

少女 ギュー、ギュー、ギュー……。

風の音と胸の痛み、重なる。

少女 っ、重なって。今度は胸が痛いんじゃないかって、息が出来なくなってきた、あ、私このまま死ぬんじゃないかって、先輩にも何も言えずに、友達にも嘘ついたことを謝れないまま呼吸困難か何かで死ぬんじゃないかって、馬鹿みたいなことを考えちゃって。それでも、時計の音も風の音も聞こえて来て。

音A チク、チク、チク、チク、チク……。

音B ビュー、ビュー、ビュー……。

時計の音、風の音、ずっと聞こえてくる。

少女 時計の音も風の音も、死んだらなんにも聞こえなくなるから、それでもいいかなって思えてきて。宿題のことも体育のことも部活もテストも受験も大学も将来も、死んだらなんにも考えなくてもよくなるからそれでもいいかなって思えてきて。なんにも、しなくていいから、このままでも、心臓がギョツ、って死んでもいいかなって、思えてきて。

でも、なんでか先輩の顔が浮かんできて、やっぱりまだ死にたくないなんて、考えちゃって。先輩の声とか聴きたいし、顔もっと見たいし、手とか触りたいし、やっぱり死にたくないやって、先輩のことばかり考えちゃって。なんか、馬鹿みたい。そんな、映画みたいに、逆上せちゃって……。

音A、先輩になる。

先輩 全ての基本は走り込み。そう、走り込み。

少女 なんて、暑苦しい先輩。

先輩 前世マグロだから、走るの止めると死んじゃうんだよね。

少女 なんて、馬鹿な先輩。

先輩 今、〇・一秒の世界に生きてる。風、感じる？

音B ビュー、ビュー……。

音B、先輩に風を送る。

少女 なんて、浅いセリフを言う先輩。

先輩 あー！虫！駄目！虫だけは絶対駄目！前世雑草とかだから！

少女 なんて、子供みたいな先輩。

先輩 大丈夫！泣くな！来年がある！

少女 なんて、ちよつと優しい先輩。

が、好きで、好きで、好きで、好きで。

暑苦しくて、馬鹿で、浅くて、子供みたいで、優しい先輩が好きで。

ああ、やっぱり死にたくないって……。

先輩 好きだ。

少女 なんてこと、言ってくんないかな、って、妄想して。

先輩 好きだ。

少女 先輩は絶対に言わない、だから妄想……。
先輩 好きだ。
少女 妄想……妄想？
先輩 好きだ。
少女 妄想……夢？どっちでもいいか。どっちでも、一緒。妄想でも、夢でも。起きたら忘れちゃうなら、一緒。一緒。夢も、妄想も。

音B、友達になり。

先輩 好きだ。
友達 先輩。
少女 夢。
先輩 好きだ。
友達 先輩。
少女 妄想。
先輩 好きだ。
友達 先輩。
少女 現実。
先輩 好きだ。
少女 夢。
先輩 好きだ。
友達 先輩。
少女 現実。
先輩 好きだ。
少女 夢。
先輩 好きだ。
友達 先輩。
少女 現実。

前段をリフレイン。

リフレインする度に先輩と友達は近づいていく。

二人が近づくにつれ、少女の声が大きくなる。

と、少女、二人の距離がゼロに限りなく近づいた瞬間に、跳ね起きる。

少女 わあっ！

友達と先輩はすれ違い、離れていく。

音Aと音Bに戻る。秒針の音、風の音。

少女 ……汗、やば。

……一時。

……水。

少女、布団から出る。

少女 つめたつ。

少女、扉を開ける。(マームであることに留意)

音B ぎいーっ……。

少女の動きに合わせて音B、扉の音。

少女、階段を降りる。

音A トントントントントン……。

少女、電気をつける。

音B ぱちん。

少女、冷蔵庫を開け水を飲み、自室に戻る。

これらは極めて、細やかに、精密な動作であると良い。
細かな動作を示すト書きが省略されていることに注意。

音Aと音Bは音を出す。

これらの音は一例である。細かな部分は変えてもいい。

音A ぱかっ。

音B トン。

音A バタン。

音B ぱかっ。

音A きゅっきゅっきゅっ。

音B とっどっどっどっどっ……。

音A トン。

音B ごくごくごくごく……。

少女 はあ。

音A トン。

音B きゅつきゅつきゅつ。

音A ゴトン。

音B パタン。

音A カチャン。

音B ぱちん。

音A トントントントントン……。

音B ぎいーっ……。

少女 ふあ……。つめた。

少女、布団にもぐる。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音B ビュー、ビュー、ビュー……。

少女、寝返り。

風がやむ。

音Bも秒針を重ね始める。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音B チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

少女 ……時計の秒針が気になって眠れない。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音B チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

少女 ……眠れないと気になってくる。他のことを考えてしまう。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音B チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

少女 ……先輩、部活、汗。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音B チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

少女 ……友達、ライン、先輩。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。
(以下秒針省略)

音B チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。
(同右)

少女 ……勉強、大学、授業。

……将来、煙草、仕事。
……社会、明日、先輩。
……試験、炒飯、きのこ。
……寒い、つちのこ、寒い。
……キリン、つちのこ、先輩。
……つちのこ……炒飯……先輩とつちのこ？（言葉はランダムでよい）

音A チツ、チツ、チツ、……。

音B チツ、チツ、……。

少女 つち……。

音A チツ、チツ……。

音B チツ、……。

少女 ……。

音A チツ、……。

音B ……。

少女 ……。

音A （十分な沈黙をもって）ねえ。

音B ？

音A しりとりしない。

音B り。

音A リ、リール。

音B ルール。

音A ループ。

音B プール。

音A ルート。

音B トール。

音A ルーク。

音B クール。

音A ルーム。

音B ムール。

音A ル……ル……。

音B ……。

少女 ルーフ。

音A ……！

音B ……。

音A フ。

音B フ、フープ。

音A 羊。
音B が。
少女 ……
音A ……
音B ……

音Aと音B、顔を見合わせる。

少女 九匹。

音A あ、わ、羊、が。

音B が。

少女 十……。

音A ……。

音B ……。

少女 ……ひ、き。

音A 羊。

音B が。

少女 ……。

音A ……。

音B ……。

音Aと音B、顔を見合わせる。
秒針と風、そして夜。

音A チツ、チツ、チツ、チツ、チツ……。

音B ビュー、ビュー、ビュー……。

音A ワォーン、ワンワン！

音B ホーツ、ホーツ、ホーツ。

音A ……バ、ブーン、ウ、ウ、ウ、ウン、ガタン。

音B ガシヤン。

音A ガタン、ブーン、バ、ブーン……。

音B サアーツ、サアーツ……。

音A チュン、チュン、チュン。

音B トントントントントン……。

音A カチャン、カチャン。

音B クツクツクツ……。

音A ジー……チン。
音B カツカツ、カシヤ。
音A ジュウー……。
音B トントントン……。

夜から明け方のあらゆる音。

と、不意に、携帯のアラームが鳴り響く。

音Aと音B、即座に動作、発声をやめる。

朝の音が聞こえる。

少女、半身を起こし、アラームを止める。

少女 ねむ……。

少女、布団から出ない。
ノックの音。

少女 はい、起きてる！

少女、渋々布団から出て、去っていく。

朝の音が聞こえる。

音Aと音B、ジツとしている。

終わり。